

なすしおばら ボランティアセンター情報誌

令和元年 11 月 20 日号

黒磯ハモニカ会 北赤田生きがいサロンで演奏会



▲黒磯ハモニカ会のメンバーによる演奏会♪

9月11日（水）、北赤田公民館で行われている生きがいサロンで、黒磯ハモニカ会が演奏会を行いました。演奏会の前に100歳体操が行われ、黒磯ハモニカ会のメンバーも一緒に体操に参加しました。体を動かし、準備万端でいよいよ演奏会がスタートしました。ご挨拶代わりに、「世界の国からこんにちは」を1曲目に披露し、次に、黒磯ハモニカ会のテーマ曲でもある鉄腕アトムノリの良い曲で皆さんを楽しませました。この他、瀬戸の花嫁や月の砂漠、荒城の月、青い山脈、演歌メドレーなど元気な曲やしっとりとした曲など何曲も演奏しました。聴いている皆さんは、歌を口ずさみながら演奏を聴いていました。最後に、全員で北国の春を合唱して演奏会を締めくくりました。



▲全員で100歳体操♪

♪『黒磯ハモニカ会』は、今年で結成11年目を迎え、現在18名で活動しています。練習は、毎週木曜日、とようら公民館で行っています。主に、高齢者施設や公民館まつり、生きがいサロン、各種演奏会へ参加するなどして活動しています。

災害時のボランティア活動についてのお話

近年、各地で大規模な自然災害が発生しており、この数ヶ月の間に九州北部豪雨（8月）、関東域を襲った台風15号（9月）や19号（10月）など、甚大な被害をもたらしました。

このような自然災害時には、災害ボランティア活動が大きな力を発揮し、被災地支援に大きな役割や大きな期待が寄せられています。

災害ボランティア活動をするにあたって、ただボランティア活動をするのではなく、被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないようボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全責任を持つ必要があります。

ここでは、災害ボランティア活動に参加する際の基本的な確認事項をお知らせします。



～災害ボランティア活動の基本は！～

災害ボランティア活動は、平常時のボランティア活動と同じで、本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することが基本です。



～ボランティアに行く前に現地の正しい情報を入手しましょう！～

災害発生直後は、現地は大変混乱しています。『早く被災地に駆けつけたい』『早く被災地に行って活動したい』などの思いだけで現地へ行っても、かえって被災地の復興の迷惑になる場合もあります。

多くの場合、被災地の社会福祉協議会などが中心になって災害ボランティアセンターを開設します。ただ、混乱している被災地ではすぐに災害ボランティアセンターを開設せず、被災状況を確認し被災者ごとに異なるニーズを募集・整理しボランティアの受入体制が整ってから開設します。

まずは、自分自身で被災地の情報を収集し、現地に行くか行かないかを判断してください。特にボランティア経験が少なく自己完結での活動が難しい人は、現地の受け入れ体制が整っていない段階で行っても効率的な活動ができず、かえって現地の負担を増やしてしまうこともあります。

《情報収集の方法》

被災地の社会福祉協議会や災害ボランティアセンターは混乱している場合が多いので直接問い合わせることは控えましょう。

災害ボランティアセンターなど立ち上がっていれば、ホームページやSNSなどで確認するかお近くの社会福祉協議会で被災地の情報を確認してください。

《どんな情報入手すればいいの（例）》

- ・ 現地の被害状況はどうか
（現地への交通網は？ 駐車場は？ 宿泊所は？など）
- ・ 災害ボランティアセンターは立ち上がったか
- ・ ボランティアの受入は始まったか
- ・ ボランティアの受入条件は
（年齢制限は？ 市内者のみ募集か？ 県外問わず募集しているか？ など）



などなど

～ボランティア活動は自己完結で～

《まずは自分の健康を》

被災地での活動に行く前に、自分自身の健康状態を確認し、体調が悪ければ参加を中止することも大切です。（現地に行かなくても被災地を支援する方法は幾らでもあります。）

また、現地での安全や健康も自分自身で管理し、決して無理はしないようにしましょう。無理をすることにより、周りに心配や迷惑をかけることもあります。

《自分の事は自分で》

ボランティア活動時の服装や装備、水や食料など身の回りの物については、ボランティア自身が事前に用意し、被災地で活動しましょう。

また、宿泊が必要な時は、宿泊所の確保や車中泊やテントが張れる場所などを事前に確認しましょう。

《必ずボランティア保険に加入しましょう》

被災地のボランティアセンターによっては、保険に条件（通常タイプか天災タイプ）がついている場合があるので事前に確認しましょう。

保険の加入は、最寄りの社会福祉協議会で加入してから行きましょう。災害復旧に尽力している被災地の事務負担や経済負担を少しでも減らすことができます。

～被災地での活動の心得～

《自分勝手な行動は…》

必ず災害ボランティアセンターやボランティアコーディネーター等の指示や指導に従って活動してください。自分勝手な判断や無理な活動は思わぬ事故につながりかえって被災地の人々の負担となってしまう。



《被災者に寄り添って…》

被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動をしましょう。

『がんばって』…被災者はすでに限界までがんばっています。この言葉は極力使わないようにしましょう。

『そうですね』…お話を聞く時は、否定せず聞き続けましょう。心の苦しみを言葉に出すだけで気持ちが軽くなり、被災者の方のストレス軽減になります。

『今どんな気持ちだろうか』…常に被災者の気持ちと状況を考えながら行動しましょう。

～活動を行う際の持ち物リスト～

（最低限必要な物の例です。災害状況や季節によって異なります）

- 安全靴又は長靴
（踏み抜き防止用中敷きを入れて使用する）
- 長袖（あつくてても）
- 長ズボン
- 厚手のゴム手袋
- 軍手
- ヘルメットや帽子
- マスク（防塵用）
- ゴーグル
- 雨合羽
- タオル
- ウェットティッシュ
- 飲み物 多め
- お弁当 などなど





マ・メゾン光星『光星祭 2019』 ～楽しくイベントボランティア～



10月6日(日)に那須町の障がい者支援施設マ・メゾン光星で「光星祭 2019」が開催され、個人ボランティアの5名がイベントのお手伝いをしてきました。

この日は曇り空でしたが、施設の利用者や職員、ボランティア、来場者の方たちの熱気でイベントは盛り上がっていました。今回のボランティアは3名がアートギャラリーに訪れた来場者にスタンプラリーのスタンプを押したり、オリジナルの大きな地球儀にコメントを書いた旗を付ける作業を誘導する活動でした。それぞれ来場者と交流しながら活動していました。他の2名は屋外で焼きそばを作るボランティアでした。屋外は肌寒かったので焼きそばの売れ行きは好調で施設の利用者は「おいしいね」と食べていました。今回イベントボランティアには初めての参加者がいましたが「また来年も参加したいです。」とっていました。



▲焼きそばブースでのお手伝いの様子

アートギャラリーブースでのお手伝いの様子▶



『巻狩りまつり』介助ボランティア ～個人ボランティアと高校生～



10月27日(日)に那須塩原市のイベント「巻狩りまつり」のボランティアをしました。

センター登録個人ボランティアの10名と黒磯高校、拓陽高校の生徒12名が参加しました。高校生の生徒はボランティア活動が初めてで少し緊張していましたが、個人ボランティアの方から車いすの扱い方を教えてもらい積極的にコミュニケーションをはかっていました。

イベントが始まると介助ボランティア受付をする方が増え、個人ボランティアと高校生数人がペアになり活動しました。活動が落ち着いた時点でイベントを見学したりテント内で情報交換したり活動以外にも有意義な時間を過ごすことが出来ました。利用した方に感想を聞くと「丁寧でとても安心してイベントを見ることができ、良い思い出になりました。」と話してくださいました。今回参加した高校生からも「とても貴重な経験になりました。この活動をきっかけにまたボランティア活動に参加したいと思いました。」とっていました。



▲参加者で記念写真



▲車いすの扱い方の説明している様子



▲活動の様子



傾聴ボランティアフォローアップ講座



▲渡邊純子先生の講座の様子



▲グループワークの様子

10月24日(木)、健康長寿センター1階保健センターを会場に、ボランティアセンター登録団体である『傾聴ボランティアグループひまわり』と『傾聴ボランティアグループ ラポール』を対象とした講座を、那須塩原市社会福祉協議会主催で開催し、総勢38名の会員が参加しました。

講師には、傾聴ハピネス代表の渡邊純子さんを招き、ロールプレイを中心とした『傾聴ボランティアフォローアップ講座』を行いました。まず、活動の振り返りと交流ということで、良い感情・ネガティブ感情が残ったエピソードをグループワークで話をし、その後、3人1組で【話し手】【観察者】【聞き手】になりロールプレイを行いました。講座を通して、聞く力を高めるためには、ロールプレイが重要である事を再認識した方が多かったのではないかと思います。参加者から、多くの気づきがあったとの感想を聞くことができ、今後の活動に活かせる講座になりました。



とんぼの会ボランティア活動 エルム福祉会 なすの園 キッズフェスティバル

11月9日(土)、障がい児支援施設、エルム福祉会『なすの園』のキッズフェスティバルに、とんぼ会のメンバー3名が参加しました。なすの園は、以前とんぼの会の会長を務めていた方が勤務しており、先輩のいる施設で貴重なボランティア活動をさせていただきました。とんぼの会の3名は、それぞれ各コーナーを担当し、子ども達と触れ合いながら楽しく活動することができました。また、国際医療福祉大学の学生もボランティアに参加しており、交流を深めることができました。天気にも恵まれ、子ども達の笑顔あふれるキッズフェスティバルでした。



▲とんぼの会元会長人見さんと記念写真



▲空き缶つみゲーム担当高木さん



▲わなげ担当大石さん



▲水ヨーヨー担当小高さん

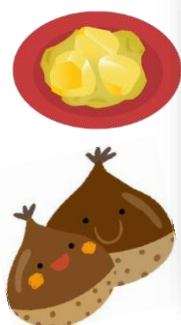
ボランティアセンター交流会（黒磯地区会場） ～和菓子作りで交流会～



10月24日(木)、いきいきふれあいセンター会議室で交流会を開催しました。

3回目の交流会は、講師に鍋木先生をボランティアでお招きして『和菓子作りで交流会』をしました。団体や個人ボランティアなど24名が参加しました。

10時から交流会が始まり鍋木先生の丁寧な指導と笑いのあるお話を織り交ぜながら各自5つの和菓子を作成しました。最初は参加者の方々も和菓子の扱いが分からなかったのですが3個目ぐらいになると個々の個性が出た和菓子になり、お話しも増え楽しく交流することが出来ました。容器に入った自分と和菓子を見て撮影会が始まり、色とりどりの和菓子の出来栄に皆さん大満足していました。



▲用意している様子



▲今回の和菓子の種類



▲珍しい木の型

今回の交流会の参加者の中には、「ボランティアには興味があるけれど・・・。」とボランティアに興味があるが自信のない方が居ました。ボランティアの方々の雰囲気がかればと交流会に参加しました。和菓子作りを通して楽しそうに同じグループの人と情報交換をされていて「色々な人と話せて良かったです。ぜひボランティアもしてみたいです。」と言っていました。また今後も工夫を重ねより良い交流会を開催したいと思います。次回の4回目のボランティアセンター交流会（黒磯地区会場）は12月20日（金）です。是非、お待ちしております。



▲参加者の男性陣 真剣なまなざし



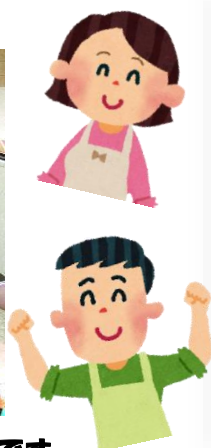
▲楽しい様子わかります！



▲グループに分かれての作業の様子



▲型抜きしている様子 難しい作業です



▲交流会参加者

ボランティアセンター交流会を開催します！！

これからボランティア活動を始めたい方、ボランティア活動をしている方など、どなたでも参加できます。この場を使って交流を深め、ボランティア活動の輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。



【日 時】12月9日（月）10：00～12：00

【会 場】ボランティアセンター本所（那須塩原市南郷屋 5-163 健康長寿センター内）

【内 容】第1部 10：00～11：00

『ボランティア講話』～ボランティアってなあに～

講師：那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター本所
センター長 福田 利典



第2部 11：00～12：00

『ボランティア交流カフェ』～お茶しながらおしゃべりしましょう～

【対 象 者】ボランティアセンター登録者・登録団体、ボランティア活動に興味関心のある方など

【参 加 費】無料

【定 員】先着30名

【申込期限】12月5日（木）

【申 込 先】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター本所 ☎0287-47-6700



【日 時】12月20日（金）10：00～12：00

【会 場】いきいきふれあいセンター 2階 会議室（那須塩原市桜町 1-5）

【内 容】『ミニ門松作りで交流会』

講師：みちくさの会 代表 若松東征 氏

※汚れてもよい服装でお越しください



▲イメージ写真

【対 象 者】ボランティアセンター登録者・登録団体、ボランティア活動に興味関心のある方など

【参 加 費】500円

【定 員】先着20名

【申込期限】11月29日（金）

【申 込 先】那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター黒磯 ☎0287-73-0073

おらせ

新たに、ボランティアセンターに登録した団体を
みんなに紹介するね♪



団体名	団体の概要
風船で遊ぼ！！ 	バルーンを通して、子供から高齢者まで、楽しんでもらいたいという想いで活動しています。地域の各種イベント、主に、公民館、お祭り、保育園などで活動しています。プレゼント、パフォーマンス、講習会など、音響付きで盛り上げます♪

皆さまから預かりした収集物を、次のとおり寄付させていただきましたので、ご報告いたします。

《プルタブ》

【令和元年5月25日～9月13日分】11.45kg

※障害者福祉施設に寄付し、施設の活動に役立てられています。

《ペットボトルキャップ》

【令和元年7月3日～10月24日分】1233.8kg 530, 534個 ワクチン431人分

※回収業者によってリサイクル資源として売られ、売却益の一部を『認定NPO法人世界のこどもにワクチンを日本委員会』へ寄付し、UNICEFと連携して世界各地の子どもたちへのワクチンとなっています。

那須塩原市社会福祉協議会が窓口となり行ってきましたペットボトルキャップ収集活動は、10月31日をもって終了いたしました。これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。今後もペットボトルキャップの収集活動を継続される方は、ペットボトル回収活動を行っている事業所等をご案内いたしますので、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】ボランティアセンター本所 ☎0287-47-6700



【ボランティアセンター本所】



住所：那須塩原市南郷屋5-163

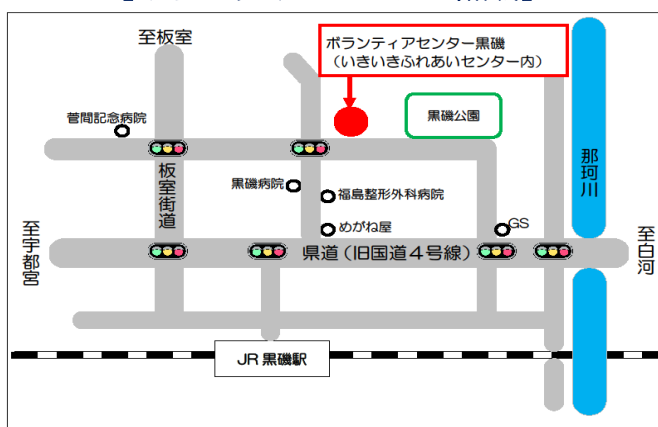
健康長寿センター内

電話：0287-47-6700

FAX：0287-47-6690

Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住所：那須塩原市桜町1-5

いきいきふれあいセンター内

電話：0287-73-0073

FAX：0287-73-0073

Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

9月	イベント	24件	125人	10月	イベント	15件	91人
	託児	2件	10人		託児	3件	14人
	その他	0件	0人		その他	0件	0人
	合計	26件	135人		合計	18件	105人

ボランティア登録数（11月1日現在）

団体	個人
79団体	92人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

ボランティアセンター本所 TEL 0287-47-6700 FAX 0287-47-6690

〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163（健康長寿センター内）

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

